

授業参観：「パラリンピック公式種目 ポッチャ体験授業」

2021.10.20「授業参観：ポッチャ体験授業」

10月20日（水）3・4限目に体育館で行われた学校設定科目（選択科目）「生涯スポーツ」の授業を見学しました。この日の授業は、近隣の千葉県立市原特別支援学校つるまい風の丘分校から2名の講師（藤平教諭、宮本教諭）を招き、パラリンピック公式種目「ポッチャ」の体験授業が行われました。（「ポッチャ」は、赤と青の2色のボールを投げ合い、目標球の白いボールに近づける競技）

講師の藤平教諭を含め2人は、映像教材を使い「ポッチャの魅力」を紹介したのち、3人組をつくらせポッチャの魅力と奥深さを指導していただきました。参加生徒全員が、初めての体験となったが競技を知り練習を重ねていくうちにポッチャの持つ楽しさや難しさを肌で体感していました。体験授業に参加した元吉くんは「見ていても面白いしやっても面白い競技だと思う。熱い展開が見られるので面白いと思った。ジャックボール（目標球）と呼ばれる白いボールにどのように近づけるか、相手のボールをどのように遠くに動かせるのか難しかった」と感想を述べました。柿澤さんは「ゴールボールよりも難しかった。対戦相手の戦略を見ながらボールを投げることが難しかった。車椅子を模して作った椅子から投げるときに、輪っかに手が当たってしまい思うようにボールを投げることができず難しかった。身体が不自由な方の気持ちにほんの少しだけ寄り添うことができかもしれない」と感想を述べました。

《ポッチャ体験プログラム》

- ①「概要説明」：ポッチャについて知ろう
- ②「ポッチャ体験」：ポッチャ競技を体験しよう
- ③「障害理解」：肢体不自由の方の気持ちを考えながらポッチャを体験しよう
- ④「ポッチャ大会」：ポッチャ大会をしよう
- ⑤「記録会」：記録会に挑戦しよう



ポッチャの魅力伝える映像の視聴



ボールの投げ方についての体験



点数のつけ方体験



ポッチャ体験



記録会に向けての説明



肢体不自由の方の気持ちを考えながらポッチャを体験



記録会に挑戦中



※ポッチャ体験授業の様子が11月1日付け千葉日報に掲載されました。